

すくすく園では、お子様が病気の回復期にお預かりしています。普段は元気いっぱいの子ども達も疲労で体調を崩すこともあります。ご家庭でもかかりやすい病気についての症状と正しい対応を知っていればあわてずに済みます。鳥取県中部感染症流行情報を参考にいただき、手洗い、消毒、うがい、マスク着用を徹底しながら病気に負けないように体調管理を心がけていきましょう。

鳥取県中部感染症流行情報

疾病名	第1週	第2週	第3週	第4週
インフルエンザ	×	×	×	×
感染性胃腸炎	△	○	△	△
水痘（水ぼうそう）	△	△	×	○
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	△	○	△	×
手足口病	×	△	×	×
ヘルパンギーナ	○	△	△	×
咽頭結膜熱	×	×	×	×
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	×	×	×	×
流行性角結膜炎	×	×	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	×	×
RSウイルス感染症	×	△	○	◎

★警報発令中
◎流行している
△散発

○やや流行している
×患者発生極少又はなし

今月の気になる病気

RSウイルス感染症

* 感染経路

RSウイルスに感染している人の咳やくしゃみ、または会話をした際に飛び散るしぶきを浴びて吸い込むことで感染します。ドアノブなどの環境表面についたウイルスへの接触により、鼻や口などの粘膜や傷口などを通して感染する接触感染も成立します。

* 症状

- ・潜伏期間は2～8日、典型的には4～6日です。
- ・発熱、鼻水などの症状が数日続きます。多くは軽症で済みますが、咳がひどくなる、「ゼーゼー、ヒューヒュー」という喘息を伴った呼吸困難が出るなどの症状が出現した場合は、細気管支炎、肺炎へと進展することがあり注意が必要です。
- ・初めて感染する乳幼児の約7割は、数日のうちに軽快しますが、約3割は咳が悪化し、喘息、呼吸困難症状などが出現します。
- ・早産児や生後24ヶ月以下で心臓や肺に基礎疾患がある、神経・筋疾患や免疫不全の基礎疾患を有する感染者の場合、重症化するリスクが高まります。
- ・重篤な合併症として注意すべきものには、無呼吸発作、急性脳症などがあります。

◇ 感染症予防策

- ・せっけんでの手洗い。うがいをしよう。
- ・タオルや食器などは別々に使用しよう。
- ・外出時はマスクを着用しよう。

